

地域の商店街、スーパーの現状は!? 23区平均上回る区の小売店減少率



食料品など中心に地域の小売店が減少し、商店街再生は、安心して暮らせる町のキーワード。地域の商店街も見ると、だんだんと小売店の数が減少していくのが目に付きま

す。二〇〇七年商業統計調査速報では、この3年間で区内の小売店舗は、392店舗減少、減少率も11%で23区平均を上回っています。業種別に見ると食料品、衣料品などの専門店の減少が大きい要素となっています。その一方、食料品関係を中心にしたスーパー、ドラッグストアは、増加していま

【荒川区小売業の特徴】

2004年 2007年
 専門店 1872 1629
 減少の内食料品関係が半分近く
 専門スーパーは、ほとんど変化無し、コンビニは微減...など



す。また、コンビニは微減。大型店の数は、横ばいですが、撤退したものもありま

す。しかし、二〇〇七年以降、出店ラッシュが続いています。すでにオーバーストア状態です。各地域を見ても軒並み減少し

横山幸次

日本共産党荒川区議会議員団

区政報告
ニュース

363

2009年10月25日
 発行 日本共産党区議団
 3802-4627
 fax3806-9246
 E-mail: arajcp@tcn-catv.ne.jp
 町屋相談室
 荒川区町屋5-3-5
 3895-0504

横山幸次区議のホームページをご覧ください。
 「横山区議」で検索して下さい。

荒川区の地域別小売店の状況

	小売店舗数			従業員数		
	2007年	2004年	増減	2007年	2004年	増減
荒川区合計	1,870	2,100	230	9,353	10,181	828
町屋地域	238	275	37	1,243	1,454	211
荒川地域	305	345	40	1,488	1,445	43
西尾久地域	234	274	40	1,256	1,237	19
東尾久地域	260	303	43	1,174	1,232	58
西日暮里地域	216	221	5	1,138	1,186	48
東日暮里地域	282	306	24	1,430	1,752	322
南千住地域	335	376	41	1,624	1,875	251

(: マイナス)

ています。調査は、2年前です。さらには減少しているはず。これからの町のあり方について商店街から光を当てることも必要になってくるのではないのでしょうか。(裏面に)

裏面 「地域と商店街」など

定例法律相談

11月 2日(月)
 午後6時～8時
 横山区議事務所

【定例生活相談会】
 毎週水曜日 午後2時から5時
 会場は、横山区議事務所です。

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介しますので、お気軽にご連絡ください。
 TEL&FAX 3895-0504
 不在時は、留守電へ、後で連絡します。

まちな話あれこれ
 区内全域で歩行喫煙禁止、町屋駅周辺など路上喫煙禁止条例は改正されたが、区民への周知など実態は...

この議会で、歩行・路上喫煙禁止への対応が一つの議論となりました。ことの発端は、ある会派の議員が、路上喫煙禁止地区(止まって喫煙することも禁止・町屋駅周辺など)に灰皿を設置することを要望し、区がそれに応じたことです。「そもそも路上喫煙を禁止しておいて、灰皿はおかしい」「いや必要だ」など様々な意見が出されました。大勢は設置反対論でした。論理的にも矛盾しています。しかし、区民のなかにどれだけ周知、徹底しているのでしょうか。条例改正で区内全域で歩きながらの喫煙禁止、駅前などでは路上で止まるとの喫煙も禁止です。区民の合意と理解なくして完全実施はできません。横山幸次



町屋駅の路上喫煙禁止横断幕

高齢者などの生活圏から見た小売店 商店街と大型小売店(スーパー)の配置は



競合する大型スーパー

左下の地図を見て下さい。私たちの暮らす地域もご多分に漏れず高齢化が進んでいます。若い頃なら何でもなかった買い物などの外出も、なかなか歳をとると大変になってくるものです。特に生活に欠かせないお買い物は、生活必需品を購入するだけでなく、多くの方とふれあう大切な外出の機会です。ところが、区内小売店舗の減少の多くが生鮮食品などの店舗で占められていきます。身近なところで野菜、魚、肉など買えない状況が生まれていきます。

地図で示して

左下の地図を見て下さい。川沿いから町屋駅までは直線距離で1キロメートルあります。町の周辺からスーパーに行くには、少なくとも500メートルです。町屋地域の商店街にも食料品の専門店が数少なくなっています。スーパーは、競争の結果いつ撤退するかわかりません。あらためて商店街とまちづくりを考えたいと思います。

■ = 大型店(スーパー)
— = 商店街



○ = この円は、半径500メートル
直径1キロメートル
→ = 約500メートル

南千住保育園の民間委託は見直しを 202名定員、途中での指定管理移行...

いま、地域を問わず再開発、大型マンション建設と経済情勢の変化で保育需要が急激に増えています。最も象徴的な場所が南千住。そこに定員200名を超える規模の南千住保育園を近接地に建て替え。この議会には、その設置条例が提案されました。日本共産党区議団は、大規模園のため1、2歳児各定員30人、4、5歳児各45名定員など保育環境に大きな問題、再来年から財政効率優先でその大規模園を指定管理者に任せる問題

来年度は、指定管理者に選定された法人から0から5才までの6クラスに担当が派遣労働者として就労、事実上区の職員の下で研修の場に、現在の保護者は、区の直営保育園を選択すべきではないでしょうか。

こんな問題も...!

202名定員の園庭基準・・・園庭(185,1㎡)屋上(222.94㎡)も近くの若宮八幡遊園(584,51㎡)を入れてやっと確保

区内私立・公設民営保育園の保育士平均年齢32.8歳(勤続年数9.4年)ベテラン保育士の多い公立と人件費を比較してのコスト論は筋違いでは。

南千住保育園の概要図です

